

令和元年度 3号

妻・(新)妻高等学校PTA新聞

2020年3月号

〒881-0003 宮崎県西都市大字右松2330
TEL.0983-43-0005/FAX.0983-43-0004



贈る言葉

校長 高橋 哲郎

卒業生の皆さん、卒業おめでとうございませう。

保護者の皆様、お子様のご卒業を心よりお喜び申し上げます。

今、皆さんがまさに巣立っていく本校は、大正12年に創立され、以来97年の歴史と伝統を積み重ねる輝かしい学校です。本校の正門からは、西都の町並みから清流一ツ瀬川まで見渡せる素晴らしい環境にあり、皆さんもその景色にこれまで何度も勇気づけられたのではないのでしょうか。

さて、私は、妻高はなぜこの場所に建てられたのだろうと思う時があります。もちろん、その答えの一つには昔ここに国分尼寺があったとされるように、この地が古くから文化や学問の中心地であったことがあげられると思います。そしてもう一つは、やはり「坂」の存在です。本校に来るには必ず坂を上る必要があります。たしかに坂が無い方が楽だと思います。しかし、楽な道ばかりでは得られないものもある。坂は厳しい道のりだからこそ、それを乗り越えた時には何事にも負けない強さが身につくのです。

さあ、いよいよ巣立つ時が来ました。皆さんが妻高で、坂を上って磨いてきた自信と誇りを持ち、自らの夢に向けて精一杯飛んでみてください。その力については、皆さんの活躍を心から楽しみにしています。



変わりゆく、時代の妻校をほんの一部分ですが、妻高等学校沿革で作成しております。

妻高等学校沿革

大正12年3月20日 宮崎県立妻中学校を設立
 大正14年3月31日 宮崎県実科高等女学校を設置
 昭和3年1月16日 実科高等女学校が組織変更により、宮崎県妻高等女学校となる
 昭和19年1月1日 宮崎県妻高等女学校が宮崎県立妻高等女学校と改称



1939年(昭和14年)妻高等女学校第11回卒業写真



1945年(昭和20年)旧制妻中学校18回卒業写真

昭和23年4月1日 宮崎県立妻中学校(大正12年創立)・同高等女学校(大正14年設立)を統合して宮崎県立妻高等学校を設置す

昭和25年4月10日 農業科(定員80名)と家庭科(定員80名)を設置
 昭和26年4月1日 商業科(定員50名)を設置
 昭和28年4月1日 普通科1学級50名増加、定員150名



1955年(昭和30年)商業科・農業科

昭和31年 体育館竣工
 昭和34年3月31日 図書館竣工
 昭和37年4月1日 商業科2学級(100名)増加、定員150名、音楽室(25坪)新築、商業科教室(50坪)増築
 5月20日 公認50mプール竣工



1962年(昭和37年)妻高校の様子

昭和38年4月1日 商業科募集停止 商業科を分離し、宮崎県立西都商業高等学校として開校

12月11日 図書館 書庫(12坪)竣工
 昭和40年4月1日 普通科1学級増(定員330名)、家庭科2学級増(定員176名)、農業科及び定時制募集停止
 昭和42年12月1日 新校舎落成式
 昭和43年12月9日 第二グラウンド(10,384㎡)完成

昭和47年8月4日 体育館竣工

10月7日 創立50周年記念式典を挙



1972年(昭和47年)創立50周年パレード

昭和49年5月12日 宮崎県立妻高等学校後援会設立発足す

昭和50年5月25日 全国日本中学校環境緑化コンクールにおいて準特選に入選

昭和56年6月31日 図書館棟竣工
 昭和57年1月8日 九州地区学校図書館コンクールで文部大臣賞受賞

10月31日 学校創立60周年記念式典挙



1984年(昭和59年)に廃線になった妻駅 写真は1959年(昭和34年)



創立70周年記念碑

平成2年7月14日 新聖陵会館落成
 平成4年10月18日 学校創立70周年記念式典挙行
 平成7年3月7日 創立70周年記念として校訓碑を建立
 平成8年4月1日 柔道場(武道場)新設
 平成9年3月18日 家政科2学級募集停止、福祉生活科1学級(定員40名)新設、学校定員320名
 平成10年3月31日 新弓道場竣工
 11月17日 家政科閉科
 妻高校PTA「社会教育優良団体」県教育委員会より表彰受賞
 平成15年3月15日 福祉生活科募集停止
 平成17年4月1日 福祉科1学級(定員40名)新設
 平成19年3月29日 普通科1学級減(定員200名) テニスコート整備(4面)
 平成21年4月1日 普通科1学級減(定員120名)
 平成24年11月24日 学校創立90周年記念式典挙行
 平成27年10月 妻高等学校と西都商業高等学校統合を発表
 平成29年4月1日 妻高等学校と西都商業高等学校の生徒募集を停止
 平成30年4月11日 (新)宮崎県立妻高等学校開校式及び第一回入学式
 令和2年3月31日 妻高等学校、西都商業高等学校閉校



2018年平成30年新妻校の制服

歴代校長

第1代	安部 彦二郎	昭和23年4月1日～昭和23年10月21日
第2代	服部 佑吉	昭和23年10月22日～昭和25年3月31日
第3代	土持 網世	昭和25年4月1日～昭和29年3月31日
第4代	高山 義盛	昭和29年4月1日～昭和34年3月31日
第5代	米田 豊	昭和34年4月1日～昭和37年3月31日
第6代	吉田 常政	昭和37年4月1日～昭和41年3月31日
第7代	山内 俊美	昭和41年4月1日～昭和43年3月31日
第8代	後藤 賢二郎	昭和43年4月1日～昭和45年3月31日
第9代	田村 大蔵	昭和45年4月1日～昭和48年3月31日
第10代	永田 正美	昭和48年4月1日～昭和51年3月31日
第11代	坂東 運雄	昭和51年4月1日～昭和54年3月31日
第12代	日高 宗義	昭和54年4月1日～昭和59年3月31日
第13代	天辰 敏雄	昭和59年4月1日～昭和61年3月31日
第14代	本部 榮一	昭和61年4月1日～昭和63年3月31日
第15代	片岡 信雄	昭和63年4月1日～平成3年3月31日
第16代	加藤 敏行	平成4年4月1日～平成6年3月31日
第17代	横山 馨	平成6年4月1日～平成9年3月31日
第18代	荒川 功	平成9年4月1日～平成11年3月31日
第19代	警谷 九州男	平成11年4月1日～平成13年3月31日
第20代	猪崎 俊二	平成13年4月1日～平成15年3月31日
第21代	高山 俊文	平成15年4月1日～平成17年3月31日
第22代	土持 昭達	平成17年4月1日～平成19年3月31日
第23代	黒木 正彦	平成19年4月1日～平成20年3月31日
第24代	赤池 要一	平成20年4月1日～平成23年3月31日
第25代	篠原 有三	平成23年4月1日～平成26年3月31日
第26代	飯干 賢	平成26年4月1日～平成28年3月31日
第27代	門田 誠	平成28年4月1日～平成31年3月31日
第28代	高橋 哲郎	平成31年4月1日～

制服の歴史



1977年(昭和52年)当時の制服 このときはセーラー服



1977年(昭和52年)当時の制服 女子生徒はブレザー



2020年(令和2年)3月で最後の制服

贈る言葉

PTA会長 柿塚 文治

ご卒業おめでとうございます。保護者の皆様、子供達が立派に成長され、今日の日を迎えられたことを心よりお祝い申し上げます。そして、校長先生をはじめ、先生方におかれましては、生徒達をごきよまで暖かく、時には厳しく、根気よく導いていただいたことを保護者を代表して心からお礼申し上げます。

さて、みなさんは妻高校において三年間という長い人生の中の一握りの時間の中で、こうして立派に成長できることができました。これはひとえにご家族や先生方はもちろんおおくの先輩・後輩・友達とのかわりを通して「はぐくまれた」賜物だと思います。

妻高校の校訓「立志・友愛・創造」を礎にここで過ごした素晴らしい時間を土台として、さらに大きな人間に成長してくれることを祈っています。卒業おめでとうございます。

生徒会長挨拶

大重 陸斗

3年生の皆様、ご卒業おめでとうございます。私たちが在校生は西都商、妻校閉校大きな節目に立っています。私たち先輩方が築き上げてきた母校の歴史や伝統を受け継ぎながらも、(新)妻校として新しい歴史を作り上げていきます。

これからも応援をよろしくお願いします。

3年生担任からの送る言葉

1組 井手 誠

卒業おめでとうございます。

高校3年間色々なことがあったと思います。時には苦しく困難なことに直面したこともあったと思います。

す。

これからも、苦しい事困難なことに直面するかも知れませんが、決して自分を見失うことなく、周りの人の助けを得ながら乗り越えて行ってください。また、会う日までお互いに元気で

2組 黒木 誠司

大人になるということは自分で判断し決定していく事。それは過去を振り返り、将来を予測して決断するという事。私が歴史を教え続けているのはその力を育てるためです。

立派な大人になってください。

3組 小川 弓代

「自己紹介」「最近の悩み」「スマホ」「好きな晩御飯」「ひいらぎ祭」「真の受験生になるには」「これから」…学級日誌のテーマです。妻高校での懸命な日々がみんなの背中を押してくれています！がんばれ！卒業おめでとう。

4組 守永 亮二郎

大吾！優里花！聖奈！空！涉！彪！彩心！美沙希！萌！里奈！優！陸！桃華！明博！風花！桃果！海樹！優花！宥大！優姫！慶斗！

あなた達の明るい将来をお祈りしています。一度しかない人生を精一杯歩んでください。

5組 遠藤 千代子

土砂降りの大雨でも雲の上には常に青い空が広がっています。必ず晴れる。そう信じて前向きに笑顔で頑張り続けることのできる、たくましい人になってください。雲外に蒼天あり。未来に向かって突っ走れ！！3年間ありがとう。

県高体連表彰式



令和元年 年度
第41回 宮崎県高等学校体育連盟

小野 裕大

令和元年 宮崎県高等学校体育連盟 第46回スポーツ表彰式が行われました。

全国大会で好成績を収めた選手や高校スポーツの発展に尽力された指導者ら33団体と166個人に表彰されました。

わが高校から、功労者より若山浩章先生(レスリング専門部)、優秀選手 3年 小野裕大(ボート部)が表彰されました。



若山 浩章

編集後記

卒業生皆様、卒業おめでとうございます。令和初の卒業生ですね。

就職、進学と行先はみんなバラバラですが、長い人生、山あり谷ありと大変ですががんばってください。そして私も、この新聞を持ちまして、12年間の広報部を卒業です。長い間、ありがとうございました。